

去る3月27日、小高区4小学校合同閉校記念式典が開催され、閉校記念事業を無事完了することができました。「実行委員会だより」も今回が最終号となります。
閉校記念式典実施内容を紙面にて報告いたします。

実行委員長あいさつ（要旨）

堀内 洋伯 実行委員長



東日本大震災と福島第一原子力発電所の事故から10年、復興の道を子どもたちとともに歩み進んできた小高区の4つの小学校も、また1つの区切りを迎えました。小高の各地の拠点として歴史と伝統が築き上げられてきた小学校は、震災と原発事故によって、小高区全域が避難指示区域となり、長引く避難生活で避難先や新たな居住地の学校へ転校したことで、震災前の10分の1まで児童数が減少してしまいました。

平成28年度から小高区4小学校として合同運営が始まり、平成29年4月に、小高区で学校が再開され、仮設校舎で十分にできなかったこと、小規模校の特色を最大限に生かした様々な教育ができる環境となり、小高区4小学校の合同運営を進めてまいりましたが、子どもたちが学ぶべき本来の学校のあり方の協議をする時期を迎え、「小高区の小学校は一つに統合すべき」との意見が見出され、統合により全てを新しくするのではなく、時代とともに受け継がれた各地区の小学校の歴史と伝統、4校合同運営で築かれた子どもたちの魂を生かして、子どもたちが戸惑うことなく、楽しい学校生活を送れる環境を整えることを大切に考えながら、小学校の統合に向けた準備を進めてまいりました。

これから先も、地域の皆様とともに新しい学校に期待を込めて、小高で学び成長する子どもたちの姿を見守り続けましょう。

学校長式辞（要旨）

藤巻 国孝 小高区4小学校長



小高区の学校の歴史は明治6年に始まり、地域の学校として、その歴史を刻んできており、それぞれの学舎を、併せて1万9千人の卒業生が巣立っています。

しかし、平成23年3月11日の東日本大震災以降、状況が一変しました。鹿島区の小中学校の校舎や校庭の仮設校舎で、多くの困難を乗り越えながら学びを継続しました。

平成28年度からの4校合同運営を経て、平成29年度に小高小学校本校舎への帰還、そして、この度の統合。

地域の皆様、保護者の皆様にとって、今回の統合は容易に受け入れることのできない事態であったと思います。しかし、人工芝できれいに整備された校庭と設備の整った校舎で、学び、走り、遊ぶ子どもたちの姿を見るにつけ、4校の児童がこの地で共に学ぶことができ本当に良かったと心より思っております。

児童の皆さんに宿題を1つだけ出します。小高区4小学校のみんなで毎日楽しく勉強したこと、遊んだこと。4校の校歌をみんなで心を1つにして歌ったこと。出会うはずのなかった他の学校の子と友達になれたこと。皆さんがこの学校で経験したことをこれから出会う大切な人に、必ず教えてあげてください。4つの小学校がここにあったことを忘れないため、そして小高区の未来のために、皆さんがやらなくてはならないことであり、ここで学んだ皆さんにしかできないことです。宿題、忘れないでください。

これまで長きにわたり小高区4小学校の発展にご尽力賜りました区長様をはじめ、地域の皆様、保護者の皆様、教職員の皆様、すべての関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

閉校記念プレート除幕式

閉校記念式典終了後、実行委員会が福浦小学校、金房小学校、鳩原小学校に閉校を記念して設置した「閉校記念プレート」の除幕式を行いました。

除幕式では、各小学校にお越しいただいた区長の皆様や地域の皆様と実行委員が除幕を行い、記念撮影を行いました。

福浦小学校



福浦小での除幕式の様子



福浦小の閉校記念プレート

金房小学校



金房小での除幕式の様子



金房小の閉校記念プレート

鳩原小学校



鳩原小での除幕式の様子



鳩原小の閉校記念プレート